

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	生体モデル膜における脂質分子の動的配座とドメイン構造
研究代表者	村田 道雄（大阪大学・大学院理学研究科・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>これまで応募者は、タンパク質との相互作用における周辺脂質の解析、モデル生体膜中の脂質分子の立体配座の解析、ドメイン構造解析用の分子プローブの開発など国際的に最先端の研究成果を発表している。これらの優れた成果を基礎として、固体 NMR を用いた膜中の水和した脂質分子の動的配座や標識脂質分子を用いたナノドメイン構造の解明、計算科学とモデル脂質データによる膜タンパク構造の予想を目的とする先駆的な研究内容である。モデル膜中の脂質分子の解析にとどまっており、応用に向けた具体的提案がないとの懸念もあるが、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>